

マラソン講座 7/28 平和教育

「私の平和教育」と題して、二葉中学校の横山先生から「ねがい」を中心とした実践を発表してもらいました。参加者は 24 人(会場:16、オンライン:8)で貴重な学びができました。いま小中学校では“自治”を学ぶ場が少なくなっていると感じ、班長会などの取り組みを通して、“自治”を学ぶ場を積極的に取り組んでいきたいと話し、その取り組みの中に「平和教育」があるとされました。



参加者の感想から

○自分の実践の中で、「平和教育」について学習する時間を十分にとれていなかったのだと反省したというのが一番の感想です。「平和」の「へ」の字すら、学べていない現状を変えるためにも、このような学びの機会を大事にしていって、子どもたちに語れる教師になりたいです。

○横山先生の実践から、「ねがい」は子どもたちの声、自治から生まれたのだと改めて感動しました。今の学校での平和教育は、多忙化もあり、「平和ノート」をこなすだけになっていて残念です。2年生の子らは学校にあるアオギリのことなので、歌も歌い心をよせて取り組みました。参観、懇談会で保護者にも伝えられたのが救いです。平和教育ははずせません。

○「ねがい」のとりくみは、貧困・差別・搾取・抑圧からの解放の「ねがい」だと思った。今の子どもたちの「ねがい」を歌にして伝え、聴くとりくみは押しつけの平和教育ではなく、自らのおもいを発信する真の平和教育(今の自分と等身大の)につながるのかなと思った。広島での平和教育はやはり地道な被爆の実相をとらえることは必要だと思う。被爆者の高齢化に伴い、やはりそれに対応したやり方が学校でも求められると思う。

○毎年平和教育を終えて、「もっと、、、」と反省が残ります。でも、終えてという感覚が違うよなと思いつつ、日々の授業に追われています。平和について、いつも伝えられる大人でありたいと改めて思いました。

○平和学習は重視して独自に取り組んだり学校の中で広げようとしていますが、こちらが一方的に話をするのが中心になっていて、子どもが表現したり、行動したりということができていないなあと…願いの 5 番づくりはやってみたいなあと思います。



○横山先生に教えてもらった中学時代、なぜか一生懸命に燃えていました。班活動や学年集会を区切りごとに仕組んでくれていたことを改めて思い出しました。私のクラスでは、班長会議、班替えをしています。今までは先生が決めていたようで、「自分らで決めてもいいんじゃない!」とビックリしていました。少しでも自治を……。原爆の子の像の碑前祭、二葉中の生徒は立派でした。私もうわべだけでない平和教育をしたいと思いました。よりよい社会を作る人になりたいと思わせる教員になれるよう頑張ります!!

○不勉強でマラソン講座そのものにほとんど参加したことがなく、特に平和教育に関するものは具体的に聴くのは今日が初めてでした。最近の世界情勢や平和ノートのことなど、いろいろ気になることがたくさんある中で今回のような話を聞くことができよかったです。遅まきながら、少しずつ今から学びを少しずつすすめていきたいと思えます。いい年して恥ずかしいな—と思いつつ、でもわたしくらいしか知識も意識もない職員も実は多いのでは。気がついたときから一歩ずつで学習していきたいと思えます。